

KONSHIN-TEN vol.3



この度 gallery UG Bakurocho では、2021 年 8 月 23 日(月)から 8 月 29 日(日)まで、KONSHIN-TEN vol.3 を開催いたします。

gallery UG は設立当初より若手アーティスト発掘のためのグループ展を主催し、多くのアーティストと関わってまいりました。今年で 3 回目となる KONSHIN-TEN では、立体・平面にとらわれず、様々なジャンルから選りすぐりの作品群を展示いたします。是非ご高覧ください。

出展アーティスト

タカハシマホ・三松拓真・鈴木一太郎・下村史・吉田延泰・八木鈴佳・天野靖史・松岡柚歩・古西瑞波・伊藤みのり・単 璐薔 (11 名)



タカハシ マホ

1992 千葉県出身

- 2021 “天/真/有/邪” CONTEMPORARY TOKYO – 北京
JR 名古屋タカシマヤ×TOMOHIKO TOSHINO GALLERY – 愛知
WHAT CAFÉ POP UP SHOW with tremolo “24molos” – 東京
MASATAKA CONTEMPORARY CUTE AND SWEET BUT… VOL.2 – 東京
“いい芽ふくら芽 in Tokyo 2021” – 東京
- 2020 “2020 美の起源展 入選作家展” – 東京

幼児期をテーマにしたキャラクター「あの子」をメインに制作。
人は一生に一度しかない幼児期に、人格形成の基礎が培われる。
人々の心を魅了してきた、日本の伝統である「箔」や「金」は、普遍的な価値のメタファーとして「あの子」と組み合わせて使用している

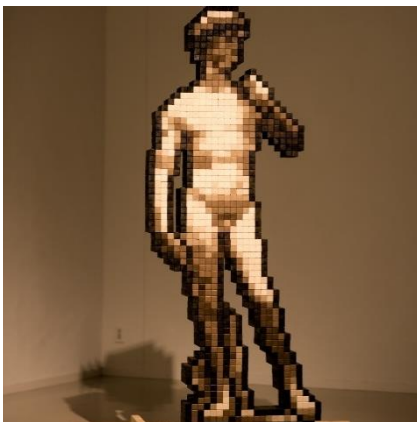


三松 拓真

1998 大阪府出身、現在広島市立大学芸術学研究科博士前期課程在籍

- 2020 個展 “いつものけもの” – Alternative space CORE, 広島
三都半島アートプロジェクト – 小豆島
“OBJECT” at ANTEROOM – ANTEROOM 京都 GALLERY9.5 – 京都
- 2019 Texas and hiroshima small work Exhibition – 広島芸術センター, 京都
“routroute” – アートギャラリーミヤウチ, 広島

私の作品には、車や動物など身近なモノをモチーフにしたキャラクターが登場します。
作品制作には木彫、絵画、ドローイングなど様々な方法も用いますが、それぞれの作品は個々に独立した思考の表出ではなく、連続する生活の断片が現れたものと考え、それらに境界線はないと考えています。



鈴木 一太郎

1988 愛知県出身

2014 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士課程前期彫刻領域 卒業

- 2020 “境界のかたち 現代美術 in 大府” – おおぶ文化交流の杜 allobu, 愛知
- 2019 “瀬戸現代美術展 2019” – 旧産業技術総合研究所中部センター瀬戸サイト, 愛知
- 2017 名古屋市文化振興事業 “Fan de Nagoya 「What is Reality?»”
– 矢田ギャラリー, 愛知
- 2016 “ナンヤローネ No.1” 制作・展示用 VR アプリケーションの監修
– 岐阜県立美術館, 岐阜
- 2015 “新宿クリエイターズフェスタ 2015” – 新宿三井住友ビル/ 新宿 NS ビル, 東京

下村 史

1996 福岡県出身、現在東京藝術大学大学院工芸科漆芸木工研究所修士課程 在籍

- 2020 東京藝術大学卒業修了制作展, 東京
- 2019 グループ展 “旅展。” – アトリエタキグチ, 東京

生活に溶け込んださやかな幸せや発見をテーマに作品制作しています。
大人の中に残っている子供心や懐かしさを漆の伝統技法を用いて具象と抽象の間の稚拙な形とのギャップで表現しています。





吉田 延泰

1978 兵庫県出身
2005 UCA 芸術大学 MA 現代工芸科修了

2019 Kobe Art Marche -Art meets SAKE- -銀座蔦屋書店 GINZA SIX, 東京
2018 “日本のガラス展” - 東京, 金沢, 三重, 兵庫
2011 Naked Craft Project キュレーション(2011~)
2010 がらす庵 主宰

空の瓶は、人の、想いを写します。
ヒト、モノ、コト。
いくつもの要素が影響を与えながら、一つの形として、ここに在ります。



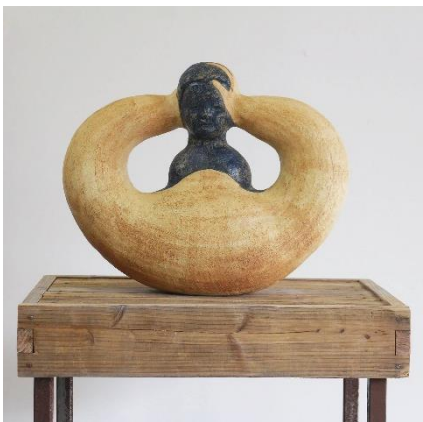
八木 鈴佳

1997 東京都出身、現在京都市立芸術大学

2021 京都市立芸術大学作品展 - 京都市立芸術大学内, 京都
“贈りもの展” - ギャラリー恵風, 京都
個展“pile” - KAGANHOTEL, 京都
個展“befog” - 京都市立芸術大学 小ギャラリー, 京都

2020 京都市立芸術大学作品展 - 京都市立芸術大学内, 京都

描画を重ね、重層的でありながらフラットな画面を意識することで、閉じられた絵画空間に奥行きのある表現を試みる。
事物と事物の間にある空間を確かめるように画面を作り、遮られた視界の先になにかを捉えようとする視覚の揺らぎや危うさを絵画層の中に捉えたいと考えている。



天野 靖史

1998 広島県出身
2021 京都市立芸術大学陶磁器専攻卒業
多治見市意匠技術研究 セラミックラボ所属

2021 “陶のかたち展 vol.18” - ギャラリー北野坂, 兵庫
2020 京都市立芸術大学陶磁器専攻前期展 - 堀川御池ギャラリー, 京都
2019 “わん・椀・ONE 展 ~次代を担う若展~” - 京都陶磁器会館, 京都
同時代学生陶芸展 - 京都精華大学 ギャラリーフロール, 京都

粘土の持つ呪術性と原始的な側面に自身の体験を織り交ぜた形を模索しています。
粘土という素材は、一度焼き締めると半永久的に存在し、絶対的な質量を持って「記憶の記録」として現れ出るのです。



松岡 柚歩

1996 兵庫県出身
2021 京都造形芸術大学(現・京都芸術大学) 芸術研究科美術工芸領域油絵専攻修了

2021 “exhibition from shu” - ygion, 京都
“Border” - Marco Gallery, 大阪
“DAWN-EXPOSITION 2021.04-” - 銀座蔦屋書店, 東京
“2020 年度京都芸術大学卒業制作展・修了展” - 京都芸術大学, 京都
2020 シェル美術賞 2020 - 国立新美術館, 東京
“SHIBUYA STYLE vol.14” - 西武渋谷, 東京



古西 穂波

1996 兵庫県出身、現在武蔵野美術大学造形学部彫刻学科大学院在籍

2021 “超彫刻” – 武蔵野美術大学, 東京

2020 “逸脱展” – 武蔵野美術大学, 東京

2019 “くうかんとりっこ” – 武蔵野美術大学, 東京

“小平アートサイト: よりみち芸術” – 小平市中央公園, 東京

2018 “オープンキャンパス展” – 武蔵野美術大学, 東京

都市から建造物、人、その人の内面というように、日常のある存在の解像度が上がっていくような感覚を取り入れ、彫刻を制作している。

匿名の存在をモチーフに、歴史という時間の流れとともに捉えられ方が変容してきた素材である木を使い、マクロとミクロの相互転換を模索している。



伊藤 みのり

1996 愛知県出身

2021 名古屋芸術大学大学院同時代表現研究修了

2021 クリエイターズマーケットメインビジュアルに起用 – ポートメッセ名古屋, 愛知
ちゅうしんアートギャラリー – 中日信用金庫名古屋支店, 愛知

2020 グループ展 “Like always” – La Paix, 愛知

二人展 “ふたりのまにまに” – gallery 芽染, 愛知

2019 清須市図書館作品展示 – 清須市図書館量ギャラリー, 愛知

旧加藤邸アートプロジェクト 2019 “記憶の庭で遊ぶ”

– 北名古屋旧加藤家住宅, 愛知



単 瑠蕎

1991 中国遼寧省出身、現在東京藝術大学博士課程後期在籍

2021 “BORDERLESS” – ギャラリーKINGYO, 東京

2019 “utsukucii Group Exhibition” – 目黒 Gallery201, 東京

“A Slight Pause” – 銀座ギャラリーQ, 東京

2018 柳津まちからアートギャラリー, 福島

スパイラルガーデン, 東京

2017 “UMARTs うまから生まれるアート展” – 神奈川

【展覧会概要】

コンシン展 vol.3

2021 年 8 月 23 日(月) - 8 月 29 日(日) 11:00 – 18:00 (最終日のみ 16:00 まで)

gallery UG Bakurocho

〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-14-11 ヤマダビル 1F, B1F

【お問い合わせ】

gallery UG Bakurocho

〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-14-11 ヤマダビル 1F, B1F

Tel: 03-5823-7655 Email: info@gallery-ug.com

<https://www.gallery-ug.com>